



祝！蔣宇静教授

令和4年 防災功労者内閣総理大臣表彰 を受賞！！

蔣宇静(ジャン イジン)教授は、令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、岸田文雄内閣総理大臣から表彰されました。表彰式は、令和4年9月13日(火)に、総理大臣官邸大ホールで行われました。

この表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』(昭和57年5月11日閣議了解)に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰されるものです。令和4年度は、12個人と36団体が受賞しました。

蔣教授の受賞は、『長崎県の道路防災事業計画委員会委員長や各種事業の委員会委員として、長年にわたり防災事業計画の策定と防災対策の専門的助言を行い、長崎県の防災整備に多大な貢献をし、近年、集中豪雨によって発生した県内の複数個所の被災地の早期復旧と再発防止のために、専門的助言と提言を行うなど、地域の安全安心に多大な貢献を行った功績が認められたこと。』によるものです。



▲ 令和4年9月13日の総理大臣官邸での表彰式(前列左から2番目が蔣教授)

こんな研究やってます | 社会環境デザイン工学コースの4研究室のうち2研究室を紹介します

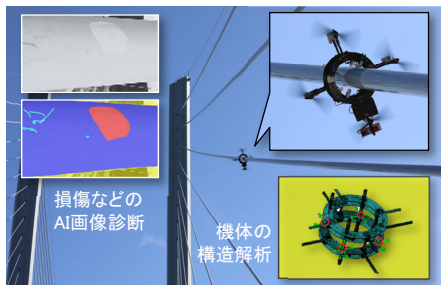
(残りの2研究室は、前々号(No.20)で紹介しています。右のQRコードからダウンロードできます。)

Download
CEE news
No.20



■ 構造物の解析・設計法・維持管理技術に関する研究

「土木構造学研究室」では、橋や道路などの**インフラ構造物の設計や維持管理、歴史的建造物の保全・活用**に関する研究に取り組んでいます。新しい構造形式(=かたち)の提案・確立へ向けたコンピュータによる**構造解析**や、橋に取り付けたセンサのデータを分析することで目に見えない(見えにくい)不具合を捉える**センシング・モニタリング**技術の開発などを進めています。また、近年進歩が著しい**ロボット技術**やAIなどの**データサイエンス**を活用・応用した構造物の診断や健全性の将来予測に関する技術開発にも積極的に取り組んでいます。多くの**特徴的な橋をもつ長崎**は構造物に関する**学びの宝庫**です(もちろん海外での研究も活発!)。



▲ 橋のケーブル点検ロボットの開発

■ 発展途上国の水環境問題の解決に関する研究

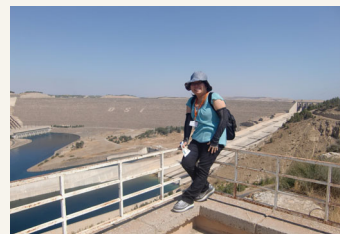
「水圏環境研究室」では、開発途上国での安全な水の確保に取り組んでいます。ケニアのビクトリア湖ニャンザ湾の流域には多くの茶畑や放牧地、また50万都市であるキスム市もあり、それらからの過剰な栄養塩の流入の結果、**有毒アオコ(有毒藍藻)**が発生しています。この毒素(マイクロシステイン)を含有する水を、現地の人々は十分な浄水処理をせずに利用しており非常に危険です。これまでの研究で、ニャンザ湾の流域調査や**河川流入に関するシミュレーション**を実施しています。さらに、現地で製造した木炭を用いた**バイオフェンス**という**開発途上国向け簡易浄水システム**を現地に設置し、有毒アオコが**95%以上除去**できることも実証しました。



▲ ビクトリア湖の水くみ風景

□■□ 教員紹介 □■□ ~吉川 沙耶花(よしかわ さやか) 准教授~

2022年10月より本学に着任しました吉川と申します。博士号取得後、東京工業大学・茨城大学での研究活動を経て、長崎へやって参りました。私の専門分野は、水文学と衛星リモートセンシングによる土地利用把握です。これまでに大きく4つの研究(①ブラジル・アマゾンにおける森林破壊とその要因、②全球における気候変動及び土地利用変化による将来の水資源量推定、③日本における極端降水と気温上昇の関係の把握、④日本における社会経済シナリオの構築)に取り組んできました。今後も人間活動が変化することによる地球環境への影響についての研究や本学での教育に力を注いでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



▲ トルコアタチュルクダムにて撮影

堅調な建設業界

充実した就職サポート

当コースにも求人数多数

当コースへの求人は非常に多く、建設業界とそれに関連する民間企業からの求人※1だけでも学生数に対して約3倍(2022年度)ありました。当コースでは公務員への就職率が高く、大学院への進学者も増えているため、実質的には民間企業への就職希望者数の8倍超となっています。

3倍

【当コースへの求人数※1】

建設業界と関連企業だけで、学生数に対して約3倍の求人がありました。

<参考> 2022年度の大卒全体の求人倍率:1.50倍

【堅調の主な理由】

- 災害復旧・復興
- 国を挙げた国土強靱化政策(維持管理、防災・減災)
- 海外事業の増加(国際技術者の育成) など

3年生になると就職に向けた準備が始まります。就職活動に特化した講義で社会に出るための意識を高めるとともに、シビルエンジニア(土木技術者)の仕事の内容について理解を深めます。さらに、必修科目のインターンシップや現場見学で、実際に将来携わる仕事を体験、見学します。本格的な就職活動が始まると、エントリーシートの添削や面接指導など、きめ細かいサポートを受けながら活動していきます。

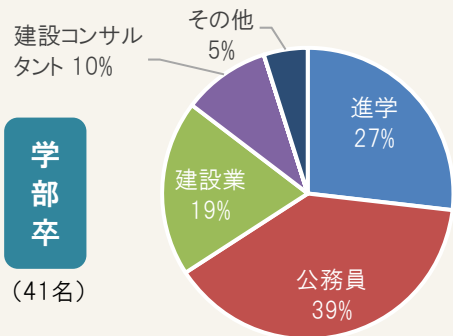


※1 当コースに直接届いた求人票のみで集計した値です。キャリアス(大学が公式に利用している就職情報サイト)に登録された求人は含まれていません。近年は個別に求人票を送らずキャリアスの方に登録する企業が増えており、実際の求人としては上記の数字以上あります。

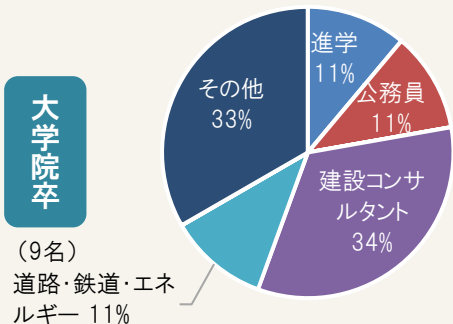
卒業後の進路

2022年度の就職率はほぼ100%! 最近の5年間をみても、ほぼ100%の就職率をキープしています。

ほぼ100%



進学	長崎大学大学院、京都大学大学院、九州大学大学院、熊本大学大学院
公務員	国土交通省(九州地方整備局)、防衛省(自衛官)、長崎県、熊本県、大分県、長崎市、諫早市、北九州市、福岡市
建設業	鹿島建設、大成建設、熊谷組、フジタ、松尾建設、大和ハウス工業、日特建設、三菱冷熱工業
建設コンサルタント	日本水工設計、オリジナル設計、国際開発コンサルタンツ、PAL構造
その他	長崎自動車、松尾友平税理士事務所



進学	長崎大学大学院(工学研究科博士後期課程)
公務員	長崎市
建設コンサルタント	八千代エンジニアリング、長大、中央コンサルタンツ
道路・鉄道・エネルギー	西日本高速道路(NEXCO西日本)
その他	帰国(留学生)

社会環境デザイン工学コースに入るには…

チャンスは最大

4回

- 1 総合選抜型Ⅰ(A・B) ※A:普通高校対象、B:実業高校対象
センター試験を課さない! コース志望が明確な学生に有利!
- 2 学校推薦型選抜Ⅱ
理数科目が得意で、就学意欲にあふれる学生に有利!
- 3 一般入試(前期日程)
幅広い基礎学力を有する学生に有利!
- 4 一般入試(後期日程)
理数科目の実力が特に優れている学生に有利!

※入試の詳細は本学入試課にお問い合わせください。例年6月頃、入学者選抜要項(大綱)が発表されます。

発行: 長崎大学工学部工学科
社会環境デザイン工学コース

〒852-8521 長崎市文教町1-14
TEL: 095-819-2626
FAX: 095-819-2627
Email: www@cee.nagasaki-u.ac.jp
Web: <https://www.cee.nagasaki-u.ac.jp/>



[Web]